

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施 設 名 : 大濠公園
- 2 指 定 管 理 者 名 : にしてつグループ公園管理団体 (代表団体 株式会社西鉄グリーン土木)
- 3 指 定 期 間 : 平成29年4月1日～令和4年3月31日
- 4 施 設 設 置 目 的 : 都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。
- 5 管理運営についての点検結果 (令和2年4月1日～令和3年3月31日)
 - (1) 点 検 方 法 : 事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに、指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。
 - (2) 点 検 結 果 : 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・全国有数の水景公園として水質や景観木を保全し、県民や急増する観光旅行者に誇れる公園とする。 ・公園の安全利用上の諸問題については、マナー啓発や注意指導等により解決する。地域やボランティア団体と連携し、県民に愛される公園環境の創出に努める。 ・コンプライアンス違反防止のため、飲酒運転、ハラスメントの講習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本県を代表する水景公園であり、大濠池や日本庭園を有し、多くの県民に利用される公園として、施設の維持管理や園内の安全対策を適切に行った。 ・歩行者、自転車、ランナーに対する利用マナーの指導、啓発活動を実施するとともに、ボランティア団体と連携し、月に1度の清掃活動やマナーアップ啓発活動、園内パトロールに取り組んだ。 ・職員を対象に各種コンプライアンス研修を実施するほか、出勤後、全員にアルコールチェックを行うことを義務付けた。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の景観を向上させ、利用促進を図る。 ・ひまわりプロジェクトやどんたくの際の花自動車展示、ランニングクリニック、夏休み将棋教室、ウインターイルミネーション、カヌー教室、お茶会等の自主事業を継続する。 ・車椅子、ベビーカーの貸出しを試験的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップやひまわり等の四季折々の花を植えて、来園者に安らぎを与えた。東側花壇の整備に合わせ、利用者から問い合わせの多かった花の名前のプレートを設置するとともに、管理事務所で育てたヤナギの挿し木を試験的に植えた。また、4か国語に対応したホームページの運営やパンフレットの作成を行うとともに、アクロス福岡や福岡市役所観光案内所などにパンフレットを設置し、利用促進を図った。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、提案どおりにイベントを実施できなかったものもあったが、カヌー教室、日本庭園での秋のもみじ会や抹茶サービス、ウインターイルミネーションを行った。そのほか、新たに地元小学校の知見学習にゲストティーチャーとして参加し、大濠公園の仕事について授業を行ったほか、福岡市科学館との協働で、子どもを対象に池の水の浄化の仕組みについての勉強会を行った。 ・車椅子（5件）、ベビーカー（5件）の貸出しを行った。このほか、日本庭園の多目的トイレにオムツ交換台を新たに設置し、赤ちゃんの駅として登録を継続している。 ・Park-PFI施設の開設時に記念式典を開催し、オープンを広く県民にPRした。 ・日本庭園利用者数：32,447人（対前年度比48.2%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> 園内で発生した落葉や剪定枝、伐木は、処分費が生じないように再利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 落葉は堆肥として園内花壇等に使用し、剪定枝はチップ化し、抑草材（雑草の生育を抑制）として再利用した。 駐車場、日本庭園利用料金収入実績：56,016千円（対前年度比77.5%、対17年度比171.3%） 委託料実績額：131,376千円（対17年度比70.3%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 責任者には豊富な実務経験と資格を有する者を配置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 現場責任者にマネジメント経験10年以上の2級土木施工管理技士を、植物管理責任者に1級造園施工管理技士等の有資格者を配置した。また、コロナ禍後の外国人観光客の確保に向け、韓国語・中国語が堪能な職員を新たに配置した。
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> 強風による倒木や破損の恐れのある樹木に対処する。 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木医による計画的な樹木診断を行い、倒木の危険のある樹木の把握や対策に努めたほか、台風等の災害の発生が予想される場合は、早急な復旧のため作業員が待機・巡回を行った。また、台風の発生後は、速やかに緊急点検を実施した。 Park-PFI施設の開設にあたり、建設時の公園内の安全管理に取り組んだほか、新たに設置した日本庭園西門に監視カメラを設置し、安全対策を強化した。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input checked="" type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】</p> <p>本県を代表する水景公園であり、大濠池や日本庭園を有し、多くの県民に利用される公園として、施設の維持管理や園内の安全対策を適切に行った。</p> <p>ボランティア団体と連携し、マナーアップ啓発活動や園内パトロールを行った。</p> <p>ボランティアとのチューリップの植栽や、日本庭園での秋のもみじ会等の自主事業を行った。</p> <p>さらに、Park-PFI施設の開設に伴う利用者数の増加を受け、日本庭園西門に監視カメラを設置し、安全対策の強化に努めた。日本庭園の多目的トイレにオムツ交換台を新たに設置するなど、利用者へのサービス向上につながる取組を行った。コロナ禍後の外国人観光客の確保に向け、外国語が堪能な職員を新たに配置した。</p> <p>以上のように、提案内容をやや上回る管理運営が行われた。</p>
---	--